

| 1-1 建物概要 |                   | 1-2 外観 |                |
|----------|-------------------|--------|----------------|
| 建物名称     | (仮称)藤沢市湘南台2丁目新築工事 | 階数     | 地上6F           |
| 建設地      | 藤沢市湘南台2丁目21番1     | 構造     | RC造            |
| 用途地域     | 第2種住居地域 準防火地域     | 平均居住人員 | 111人           |
| 地域区分     | 6地域               | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅              | 評価の段階  | 実施設計段階評価       |
| 竣工年      | 2018年10月 予定       | 評価の実施日 | 2017年9月16日     |
| 敷地面積     | 1,246㎡            | 作成者    | (株)設計集団宙組      |
| 建築面積     | 549㎡              | 確認日    | 2017年9月16日     |
| 延床面積     | 2,606㎡            | 確認者    | (株)設計集団宙組      |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 3.2

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項                                                                             |                                                                        |                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>総合</b>                                                                              |                                                                        | <b>その他</b>                               |
| 建築地は湘南台駅からほど近いが、幹線道路からは離れているため、落ち着いたある良好な居住環境が得られるように計画した。また、地球温暖化や水資源確保など、地球環境にも配慮した。 |                                                                        | 建設工事において発生する廃棄物は、徹底して分別を行い、資源のリサイクルに努める。 |
| <b>Q1 室内環境</b>                                                                         | <b>Q2 サービス性能</b>                                                       | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b>                      |
| 住戸は明るく快適な環境とするために、開口部を大きく設ける計画とした。また、建物に使用する建築材料をほぼ全面的にF★★★★とした。                       | 耐用年数の長い配管を採用して、更新必要間隔を長くするように努めた。節水型器具の使用により、ランニングコストを抑えた計画となるように配慮した。 | 敷地内には適切に緑化を施すことで、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。     |
| <b>LR1 エネルギー</b>                                                                       | <b>LR2 資源・マテリアル</b>                                                    | <b>LR3 敷地外環境</b>                         |
| 高効率の設備システムを採用し、地球温暖化の抑制に配慮した。                                                          | 軽量鉄骨地下材、OAFローアの採用により、部材の再利用に配慮した。                                      | 周辺環境に配慮し、屋外広告物は設置しない計画とした。               |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される